

日本スローワーク協会 第2期 第7回 理事会議事録(文責 長井)

2006年3月15日

出席者 (理事)水谷、宮地、西嶋、石居、今泉、長井、高橋、福井、西川

(幹事)西嶋 (理事会事務局)境

- . 議長 宮地
- . 議事録署名人 今泉、高橋

. 報告事項

第一号議案 NSP 事業部からの報告

NSP活動20回。鍋の会は30名前後で親御さんは少なくなってきている。運営は安定している。日本スローワーク協会におけるNSPの役割、かわり、ミッションについて書面にはできていないので来月にしたい。オープンミーティングは第四水曜日の大越先生を招いての勉強会として続ける。

第二号議案 スペース事業部からの報告

審議事項とともに報告。

第三号議案 カフェ事業部からの報告

3月6日から、月曜から金曜までの昼の部を中村さん、須藤さんにやっていただくことに。3月は夜の部が減少している。2月は14万円前後の赤字だが備品の購入などあり。実質的には赤字10万円を切るくらい。日商3万6千円。昼を任せているので原価率は下がってしまった。最低の賃金は確保できるようもって行きたい。日商5万円が目標。イベントは直接売上げには結びつかないことがわかってきた。営業に結び付けるにはどうすればいいか考えて行きたい。食品調味雑貨など、従来よりフェアトレードなどで協力している方々とのネットワーク作りとして物販をしていきたい。ランチコースなど考えたい。

. 審議事項

第一号議案 会報の編集について

常任理事会で準備してきた創刊号を承認した。さらに検討事項を出し合った。レイアウト案を見た。会報の性格については、購読会員を増やすことを目的とすることを確認。執筆者のプロフィールを、日本スローワーク協会にとっての立場を踏まえて入れていけば?テーマごとのリード(なぜ編集部がこれを選んだかの説明)がいるのでは?スケジュール欄は毎日必要ではなく活動予定がある日だけ入れる代わりに、1ヶ月以上書いてよいので

は？価格については年間費、振替料なども書いておく。読者投稿も歓迎だが紙面を増やすべき。投稿歓迎の旨も書いておくべき。購読会員を増やすとともに対応していきたい。各紙面は統一感があるよりも個性があったほうが良いだろう。

第二号議案 研修講座の企画について

予定の企画案（別紙）を確認。案内を別途作る。スタッフは無料なので来てほしい。カリキュラムができれば外部にも呼びかけることにする。

第三号議案 高槻市大字原の土地について

落札できなかった。

第四号議案 スロースペース事業部からの提案

スロースペース事業部は今年3月をもって活動をいったん休止することとする。正会員数が1名となったこと、アプローチの仕方に対する認識も変わり、現行システムでは実現困難と判断したことによる。別紙にて1.事業休止に至った原因、2.活動から学んだこと、3.4月以降の予定について報告。今後は十分な準備期間を経て活動を再開させたい。当面スポーツの活動は自主的に継続するよう引継ぎを行なっている。その他のプログラムについても参加者と講師の方々が主体となって単発で行なっていくよう調整を進めている。

第五号議案 就労倶楽部からの提案

寮生サポートの一環として、また通所のメンバーを受け入れる形で4月以降活動する。仕事の運営体験を活動の中心とする。詳しい経費など内容はシミュレーションできていない。また活動メニューを示した。日本スローワーク協会とニュースタート事務局関西の支援事業における就労支援事業の位置づけを図示して提案したが合意はなされなかった。

以上